

令和6年度入試（令和5年度実施）の情報開示
出題意図について

入試の区分	一般選抜（後期日程）
学部学科等	経済学部
教科・科目名	その他／ 総合問題
正解・解答例 又は出題 （面接）意図	(出題意図) 別紙のとおり
備 考	

2023 一般選抜（後期日程）総合問題解答例

日本語（本問題）

（1）

- ・船舶の負債返済のメドがたたない漁業者が廃棄しやすくなる。
- ・減船が進行することで漁獲機会が減り、資源維持につながる効果が見込まれる。

（2）

- ・船団を組み、イカが集まる場所を手分けして探す漁法を採用している八戸では、船数が減り続けると水揚げ量も落ちる。
- ・運送業や冷蔵施設会社は船数を基に設備投資しているため、イカの不漁によって水産物専門の運送会社は仕事が減り経営に影響が出る。
- ・イカの資源が回復し水揚げ量が増えたとき、輸送や冷蔵施設が乏しいと市場でさばき切れず高値が付かないため、他の港に水揚げされてしまう。

（3）

高騰、値上がり

（4）

少ない、減少する

（5）

様々な魚種に対応できる船への改修など、水揚げ量の変動に対して柔軟に対応する体制づくりや、釣り漁法から他の漁法への転換を柔軟にできる仕組みを整える手段。

英語（本問題）

（1）

- ・経済的に弱い立場にある人々の生活水準を向上
- ・低所得者の所得増加とそれによる企業の売り上げ増加
- ・労働力の確保
- ・低所得者の生活の改善による社会の安定化

これらを言及していれば良い

（2）

out

(3)

賃金の上昇に比例して労働供給が減少している。

(4)

政府は最低賃金を 1,000 円から 1,500 円に引き上げる計画を発表しましたが、エコノミストは単なる賃上げでは日本の低賃金成長に効果が限定的で、制度の抜本的改革が必要と指摘しています。賃金目標設定にも疑念があり、不確実な経済状況を考慮し、相対的な目標が良いと主張しています。政府は一時的な助成金を提案していますが、制度の根本的な改革は依然として課題です。